

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーテラス水戸おさえん通り教室				公表日	2025年2月17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	活動内容に応じて使い分けしている。	トレーニングの際に隣の声が聞こえてしまう。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	基準人員を満たした配置をすることができている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2	トイレ前のスロープなど、段差のない構造になっている。	現在職員室を区切るパーテーションが無い為、利用者が出入りしてしまうことがある。パーテーションの購入を検討中。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日必ず掃除を行い、清潔な環境を保つよう努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	利用者の状態に合わせて大部屋・小部屋を使い分けしている。	同時刻の利用者の人数によっては使い分けが難しいことがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	毎朝の申し送りや会議にて話し合う時間を設け、業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	年に一回保護者アンケートを行い、意見を参考に業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	話し合う時間を設けて改善に励んでいる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	本部による内部監査を実施している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	本部の研修や県や市の研修に積極的に参加している。また、事業所内のSTによる勉強会を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	玄関に掲示し、ホームページにも掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	トレーニング後のフィードバックや保護者面談を通して、課題・ニーズを把握している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	ケース会議や申し送りにて情報の共有を必ず行い検討をしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画書をもとに現在の課題を確認しながら、考案の作成を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	日々の申し送りや日誌などで、利用者の様子を把握するよう努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	児発管が作成した計画書をもとに、支援内容に沿った考案を作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	個々で立案することが多いが適宜相談をしながら進めている。	個別のトレーニングの為、担当職員が立案することが多い。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	1	保護者の了承を得て、小集団トレーニングを取り入れている。	年齢の近い利用者が同じ時間帯のトレーニングにいないと、小集団のトレーニングを行うことが難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	朝の申し送りや小集団のトレーニングの際に役割分担と支援内容の共有を必ず行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	翌日に必ず申し送りをし、共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	必ず子どもの様子や支援の内容を記録してその後の支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	計画書更新の際には、保護者と児発管でモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	トレーニングやフィードバック内で自己決定を行う機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児発管やSTが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	保育所等訪問を実施している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	2	送迎業務は行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	保護者から要望があった際には行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	現在は該当者がいないが、今後必要があれば対応していく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0	子ども部会への参加をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		今後活動の機会を設けていけるよう検討中。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	子ども部会への参加をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	トレーニング後に必ずフィードバックを行い、共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3		
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	体験や契約時に丁寧に説明をしている。不明な点等あればその都度対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	計画を作成後、内容について詳しく説明をし、納得いただいた上で同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	要望があった際には保護者面談を実施している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	3		実施に向けて検討中。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	苦情があった場合には、迅速に対応するよう心掛けている。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	2		Instagramを開設予定。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵付きのキャビネットで保管をしている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	全て策定し、訓練も実施している。保護者へは契約時に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	年に2回、消防訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	利用開始時に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	食事の提供をしていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	作成し、研修も実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	玄関に掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	発生した際には職員間で話し合う機会を設け、議事録に残している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	3か月に1回、委員会を実施。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0			